

平成23年度 京都府立桂高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）  
 （計画段階） ・ 実施段階）

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
地域に根ざし、地域に愛される「地域の高校」を目指し、学力の向上と調和のとれた人格の形成を図る桂教育の展開  1 学力の向上と希望進路の確保 2 読書活動の推進 3 学校行事の充実と発展 4 健康で安全な学校生活の維持 5 部活動の推進と充実	成果 1 授業評価、学校評価アンケートの実施と活用 2 進路を見据えた補習の充実 3 遅刻指導の徹底と学習環境の整備 4 目指せスペシャリスト事業の成果を基盤とした新たな研究開発の取組 5 「総合的な学習の時間」To be 2の充実 6 地域や中学校に向けた情報発信の活発化 7 部活動の充実と活発化  課題 1 上記2, 3, 4, 7の更なる充実 2 授業規律と生徒指導の徹底 3 地域に愛される学校づくりの推進 4 3年間の目指せスペシャリスト事業の成果を引き継いで更に深化させた研究開発の取組の推進 5 重点目標の焦点化と具体化	1 2年目の学力向上フロンティア校の取組を更に充実させ、生徒個々の進路希望実現に向け学習意欲の向上と家庭学習習慣の確立により基礎学力の定着を図るとともに積極的な授業改善により更なる学力向上に努める。 2 基本的な生活習慣・規範意識の確立に努め、自主自立の精神を涵養する。 3 部活動を中心とした生涯を見通した生き方指導の実践に努める。 4 教職員は社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えるよう自己研鑽、自己実現に努める。

領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	各種会議が機能的・効率的に運営できる体制づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種課題について、各部長からの意見を集約・調整し、十分な検討を行う。</li> <li>分掌内の意見を部長会議に集約するとともに、部長会議の内容を職員へ徹底させる。</li> <li>学校経営計画に基づく総括を全教職員で確認する。</li> </ul>		
	地域の信頼を高める学校づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への授業公開など開かれた学校づくりを推進するとともに生徒の学習習慣の確立を目指し、授業に集中できる体制づくりを進める。</li> </ul>		
学力向上フロンティア事業	学力向上フロンティア校の取組を通して、基礎学力の定着と希望進路の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分掌・各教科が一体となって、組織的、継続的に取り組む。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組を通して、生徒の家庭学習時間を増やし、学習状況を改善して基礎学力の向上を図る。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>HPをはじめ、さまざまな機会を通して、学力向上フロンティア事業の取組や成果を広報し、生徒の募集につなげる。</li> </ul>		
学習指導	「よりよい授業の構築」を恒常的に模索し、生徒の学力充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開・研究授業週間を年2回実施（可能な範囲で教科会議の時間に設定）し、授業アンケートの結果も踏まえて授業力量の向上を図る。</li> <li>「授業規律の確立」について、改善すべき点を全教職員で情報交換しながら取り組んでいく。</li> <li>授業運営や成績処理に関する文書を随時全教職員に配布し、教務部に関する業務が統一してスムーズに行えるようにする。</li> </ul>		
	学習環境の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室整備や空調管理に十分配慮し、生徒が集中して授業や考査に取り組めるよう、常に学習環境の整備を心がける。</li> </ul>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度について課題を持つ生徒については、教科担当者会議等の開催などを通じて把握し、学年部・生徒指導部と連携を取りながら、面談等の指導を行い、改善させる。</li> </ul>			
	原級留置者・中途退学者の減少を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初から遅刻・欠席等について生徒の動向を把握し、過多生徒については、担任・教務から指導を行う。</li> <li>・成績不振者については、教科担当者から、対象者に指導連絡票等を発行して状況を把握させ、回復のための指導を行う。</li> <li>・1年生の成績不振生徒を追跡調査し、欠席や学習に対する指導を早い段階で実施し、原級留置や退学の減少を図る。</li> <li>・追認科目を持つ生徒については、教科担当者に限らず、教務部としても積極的に関わり、第1回目での合格률을80%以上にする。</li> </ul>			
人権教育	すべての生徒に基本的人権や人権問題についての科学的認識を培い、高い人権意識を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教育活動を通して人権意識の向上を目指し、「いじめ」問題などの人権侵害防止の取り組みに努める。</li> <li>・生徒の認識や実態をふまえ、分掌・教科と連携して、3年間を見通した人権学習を計画的に進める。</li> </ul>			
	教育の機会均等を保障し、希望進路を実現し、社会的自立へ向けた取組を進める。特に、課題を抱えた生徒には、必要な援助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍生徒の教育上の諸課題を明らかにし、必要な援助を行う。</li> <li>・障害のある生徒については、関係分掌との連携のもと支援を行う。</li> <li>・修学援助制度の活用を図る。</li> </ul>			
渉外・広報	広報活動を充実し、学校の情報の迅速な提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「桂高だより」を刊行し、中学校等に配布したり、地域に回覧し本校への理解を高め、志望生徒の増加に結びつける。</li> <li>・HPを迅速に更新し、新しい情報の発信に努める。</li> </ul>			
	積極的な生徒募集に努め、本校への志願者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に学校経営計画、3月に総括評価の結果をHPに掲載する。</li> <li>・学校公開・説明会・学校見学の実施形態を改善し、参加を地域の中学校等に積極的に働きかけ、参加者の増加を図る。</li> </ul>			
	学校外の意見を積極的に採り入れた学校評価や授業改善アンケートの実施、活用、結果公表を通して、信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA、学校評議員との連携を強化する。</li> <li>・生徒による授業改善アンケートを実施し分析結果を活用して、以降の授業改善に生かす。</li> <li>・保護者による学校評価アンケートを実施し分析結果を活用し次年度の学校経営計画に生かす。</li> </ul>			
	中・長期を展望した本校教育の在り方・「信頼される学校」の構築のために、課題を明らかにし、改善に向けて組織的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志願理由や学力・学習状況を分析し、課題の明確化を図り、解決に向け部長会議・教科主任会議等で具体的方策を検討する。</li> <li>・中学校や地域等からの本校に対する期待や要望を把握し生徒募集に役立て、イメージアップを図る。</li> </ul>			
その他	入学式・卒業式を円滑に運営し、よりよいものに改善する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌の協力の下、円滑に準備し、厳粛に実施する。</li> </ul>			
	合格発表から新入生登校に係わる業務を円滑に運営し、よりよいものに改善する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学のしおりをより使いやすいものに改善する。</li> <li>・2回の新入生登校日の計画、運営、実施を円滑に丁寧に行う。</li> </ul>			
生徒指導	生徒指導の現状と課題について、教職員の共通理解を深め、学校全体で統一した指導体制をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の共通理解の下、学校全体で生活指導の充実を図る。</li> <li>・日常の生活指導の状況について、教職員にきめ細やかに連絡、報告、相談するよう努める。</li> <li>・保護者面談、日常の家庭連絡などを通して学校と家庭との連絡を密にした指導を強化する。</li> <li>・生徒指導会議の開催を定期的に行い各学年・分掌との連携を図り、服装指導や頭髪指導・遅刻指導・交通安全指導に取り組む。</li> </ul>			
	生徒会を中心に、HRと連携をとりながらリーダーの育成を図り、達成感と充実感のある学校生活を送らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会が、学校生活の様々な面でリーダー性を発揮できるようによう生徒指導部を中心に適切な指導を行う。</li> <li>・各種委員会・各学年HR運営委員会を活発化するため、生徒会本部</li> </ul>			

		との連携を深める。 ・学園祭会議を充実させ、文化祭や体育祭に全校あげて取り組む体制を構築する。			
	担任と連携し、HR活動の育成を図る。	・3年間を見通したHR計画を策定し、その上で各学年ごとの目標を設定し具体的な年間HR指導計画を策定する。 ・3年間を見通した進路指導計画を作成する。 ・担任に適切な時期に的確な資料・情報を提供する。			
進路指導	生徒が将来の生き方を考え、主体的に適切な進路選択ができるよう指導・援助を行う。	・模擬試験・実力テストを積極的に受験するよう促し、その活用を図る。 ・生徒の実態に即した補習計画（平日補習・土曜補習・長期休業中補習）を立案し、効率的な運用を図るとともに受講生徒の定着を図る。			
	希望進路実現のために必要な学力の向上と充実を図るための指導・援助を行う。	・健康診断の結果を食生活など生活習慣の確立への指導の一環として活用できるように努める。 ・心身に何らかの障害や課題を持つ生徒に対し、教育相談や支援の体制を強化するとともに他の関係機関との連携を図り、個に応じた援助を行う。 ・保健委員会活動を活性化し、健康・環境などへの意識向上を図る。			
健康・安全	健康・安全についての意識を高めさせ、自立した生活習慣の確立につなげる。	・健康診断の結果を食生活など生活習慣の確立への指導の一環として活用できるように努める。 ・心身に何らかの障害や課題を持つ生徒に対し、教育相談や支援の体制を強化するとともに他の関係機関との連携を図り、個に応じた援助を行う。 ・保健委員会活動を活性化し、健康・環境などへの意識向上を図る。			
	校内の環境美化を推進する。	・日常の清掃活動の徹底とともに、重点ポイントを定めた大掃除を実施し校内美化に努める。			
図書	教育活動に役立つ資料を収集整理し、豊かな心を育む読書活動を推進する。	・図書選定会議等と連携を図り生徒の意向も踏まえ資料の充実を図る。 ・「図書館ニュース」等の発行や、読書週間の企画、内容の充実により、生徒の自主的な図書館利用を促進し、利用秩序の徹底を図る。 ・「ブックガイド」「読書感想文集」等の発行を通じ、生徒の読書意欲向上を図る。 ・図書委員会活動の援助を通して生徒の自主活動能力を育む。			
	視聴覚機器及び設備を整備し、視聴覚教育の充実に努める。	・視聴覚機器及び設備の充実と更新、利用の調整と支援を行い、教育活動における一層の利用促進を図る。			
	優れた芸術文化に親しむ機会の充実に努める。	・団体鑑賞の実施や、図書館内での展示等を通して、生徒の芸術文化に親しむ機会の充実に努める。			
第一学年	生徒個々の状況や課題を把握し、その情報を学年団として共有できるようにする。	・学年会ごとにクラスの状況を報告することで共通理解を図り、指導の方向性を検討する。また、クラスを越えて指導にあたるように体制を組む。			
	高校生として、けじめある行動・基本的な生活習慣を身につけさせる。	・学校（集団）生活を通して、その場に相応しい言動がとれるようヒューマンスキルを身につけさせる。 ・遅刻、頭髪、服装等の指導を生徒指導部と連携して徹底させるとともに、保護者との連絡を密にし、協力して指導できるようにする。			
	HR・自主活動において自治能力のある集団づくりを目指す。	・HR活動、行事、学園祭において、生徒自身が積極的に活動するよう指導する。			
	学習習慣の基礎を確立させ、基礎学力の定着及び伸長を図る。	・授業を大切にさせるとともに家庭学習の習慣化を図る。 ・模擬試験について、事前事後の指導を徹底させ、分析することにより学力の定着、伸長を図る。 ・個々の能力を最大限発揮させるように面談等を通じて適切にアドバイスを行う。 ・基礎補充を要する生徒には自己解決の意識を持たせるとともに、そのつまずきに対してきめ細かな指導を入れていく。			
	職業観の育成を図り、将来への展望を持たせる。	・キャリア教育に関する取り組みや運営を生徒に携わらせることによって自らの進路開拓能力を養う。			
第二学	クラス個々の情報交換を密にし、学年団として一致した体制で指導にあたる。	・学年会ごとにクラスの状況を報告することで共通理解を図り、指導の方向性を検討する。また、クラスを越えて指導にあたるように体制を組む。			
	各自の進路目標を具体化させ、また学力向上の必要性を認識させることで自	・進路部と連携し適切な進路学習・進路指導を模索し、進路意識を高めるとともに具体的な目標設定をさせる。			

年	ら学習する力をつけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験データの活用、補習講座の充実、週末課題等による家庭学習時間の増加により学力の定着を図り、進路実現に向けての意識付けを行う。</li> </ul>			
	自らの行動を律し、仲間を大切にすると態度を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動や学園祭等の諸行事を通してクラスの一員としての自覚を高める。</li> <li>・学年集会などを通して集団生活での意識すべきこと、守るべきことを指導する。</li> <li>・学年最大の行事であるスキー研修を、研修旅行委員を中心に委員会を活性化させ成功させる。</li> </ul>			
第三学年	自主的・自治的な能力の涵養を図り、高い規範意識に基づいた学級・学年集団を作るとともに、卒業後、社会の一員として必要な資質を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TPOに応じて相応しい振る舞いや言動が取れるよう、あらゆる場面が学びの場であることを自覚し、社会性を身につけさせる中で他とともに尊重できる精神を育てる。</li> <li>・ホームルームを中心とした日頃の諸活動や野外活動、学校祭、また、卒業に関わる諸行事等を通して生徒一人ひとりの自主的能力をさらに高めて各行事を成功させる。</li> <li>・早期に進路が確定した生徒も最後まで高校生活を全うするよう指導する。</li> </ul>			
	学習習慣を確立させ、確かな学力を身につけさせるとともに、希望進路の実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律を保つ中で学習環境を整え、授業に集中させる。また、教科担当者と連携を密にし、進路開拓・実現に向けた学力の充実を図る。</li> <li>・適切な進路情報を適時に提供し、進路補習、模擬試験、オープンキャンパス等に積極的に参加させる。</li> <li>・進路希望調査や二者・三者面談を通じて生徒個々の実態を把握し、希望進路実現に向けて粘り強く助言、指導を行う。</li> </ul>			
農場	農業・環境のスペシャリスト育成を目指し研究開発に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの成果や課題を踏まえながら、さらに深化させた研究開発の取り組みを行う。</li> </ul>			
	農場会計の効率化と施設・施設の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務部と連携し、効率的な収入・支出の事務処理に努める。</li> <li>・安全で快適な農場環境作りを推進するとともに、老朽化した施設・設備の更新等、農場整備に努める。</li> </ul>			
	専門科目の授業、農業クラブ活動を通して、教科指導・生徒指導の充実を図るとともに、農業クラブ近畿大会を成功させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TAFFの取組、専門学科の教科指導、総合実習、農業クラブ活動を通して専門性を高めるとともに、規範意識を養う。</li> <li>・農業クラブ近畿大会を成功させるため、準備・運営を適切に行う。</li> </ul>			
	進路希望の実現と生徒募集の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各部と連携し、3ヶ年で確実な実力を身に付けさせ、希望進路を実現できるよう指導を強化する。</li> <li>・積極的に中学校訪問・出前授業等を行うとともに、あらゆる機会に学科の魅力をPRし、目的意識の高い生徒の獲得を目指す。</li> </ul>			
事務	安全で快適な教育環境の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽・危険箇所等の整備・改修に努める。</li> <li>・施設・設備を定期的に巡回して点検する。</li> </ul>			
	備品の適正な管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の点検、整理をする。</li> </ul>			
	危機管理意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対策等危機管理意識の向上と緊急対策備品を整備する。</li> </ul>			
	地域や外部への対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他分掌との連携を密にし、地域や外部に信頼される対応に努める。</li> </ul>			
次年度に向けた改善の方向性					